

輝くふるさと常任委員会（鈴木満委員長）は、9月9日に各会計の元年度決算の審査を行い、予算が効果的かつ適正に使われているか、事業の実施効果や状況はどうだったのか確認しました。

主な質疑の内容をお知らせします。

財源の確保 住民会計

問 自主財源確保のための取り組みは。

答 町税は、徴収対策本部を立ち上げ対応を検討。期限内納付の推進や滞納解消に努めている。徴収率向上のため、口座振替の推奨やコンビニでの納付など利便性を図っている。

町税以外では、財産収入などのほか、ふるさと納税制度による寄付金確保にも力を入れている。財政調整基金をはじめ各種基金（合計約56億円）を活用し、弾力性のある

予算執行 総務

財源確保に努めている。

問 一般会計の執行率は70割となっているが、どう評価しているか。

答 2年度へ繰り越した事業費が約20億円あり、これを除く実質の執行率は92割であり、目標は95割としている。

不用額は、年度末の3月の最終補正で調整しているが、対応が難しい事業などもある。経費節減を念頭に事業を実施したことも、執行率の低下となった要因である。

情報教育 こども教育

問 情報教育やICT活用教育など、児童生徒を指導する教員の研修は、十分行われているか。

答 教員には随時対応しており、今後必要に応じて研修へ派遣していく。

町屋の活用 まちづくり

問 町屋（新町の旧遠藤邸）を280万円かけて修理しているが、活用状況や貸し出し方法はどうか。また活用を周知しているか。

答 トイレの水洗化、流し場の設置などを行った。DMOの各部会や秋まつり実行委員会の本部事務所、クラフト市などで活用されている。

町有財産として、申請により貸し出ししているが、手続き方法などを含む

収入未済額 こども教育

問 収入未済額は多額ではないが、件数が増えている。要因は何か。

答 保育料と口座振替システムの入力ミスによる



水洗化された旧遠藤邸のトイレ

ものや、山村留学生寄宿舎の使用料などである。いずれも今年6月末には納付となっている。

※収入未済額 当該年度の収入として、出納整理期間（会計年度終了後の翌年度の4月1日から5月31日まで）に納入されなかった額。

不納欠損 住民会計

問 町税や国保税の収納率を高めるため、法律に基づき不納欠損の処理をすべきではないか。

答 不納欠損の事務処理は進めているが、滞納の

協力隊員 まちづくり

問 地域おこし協力隊員

うち死亡者案件が約25割を占めるため、財産の調査や督促、分納誓約など確定させる手続きが進んでいない状況である。



山村留学生（手前）と談笑するハウスマスター

※不納欠損 徴収すべき債権が、時効が消滅するなど理由により徴収できないことを決定すること。

※ハウスマスター 勉強や日々の生活、将来のことなど、さまざまな面で相談のり、全面的にサポートする役割の人。

賛成討論（要約）

茶屋場田子線が完成 繰り上げ償還を評価



山崎 邦廣 議員

元年度一般会計と特別会計の歳入歳出決算を認定することに賛成します。

待望の路線「町道茶屋場田子線」は、懸案であった災害時などにおける迂回路、代替道としての機能を有するほか、まちなかを周遊する観光に、新たな可能性をもたらしました。

新たに完成した山村留学生寄宿舎は、居室16室、定員32名で、これまで実施してきた山村留學制度

の充実が一層図られるなど、葛巻高校の存続、発展に向けた先駆的なものです。

さらに、保育園、小中学校には新たにエアコンを設置したほか、江刈中学校の校舎改修工事が行われました。今後も、まちの将来を担う人材を育む環境整備を望みます。

町債の繰り上げ償還など、将来を見据えた財政健全化対策が講じられていることも評価します。

一般会計は、各種事業が効率的・効果的に執行されたことを評価します。

特別会計は、それぞれ求められる役割を十分果たす内容であり、引き続き町民の暮らしを守るため、安定的経営に努めていただきたい。

反対討論なし